



~~NO. 200-009~~

HEAD OFFICE ; SUBARU BLDG.  
SHINJUKU, TOKYO, JAPAN

NO. 200-009 DATE H 4.7.31

(SUPERSEDES NO. )

REV. DATE

(SUPERSEDES NO. )

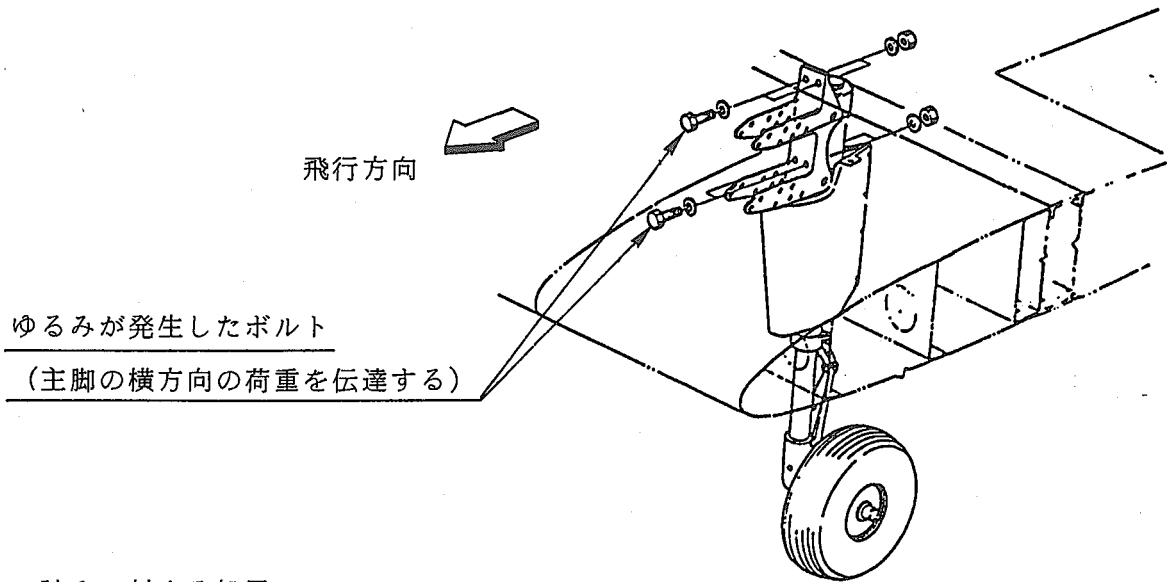
REASON

### 主脚取付金具取付ボルトの点検について

主脚取付金具取付ボルトに弛みが発生した事例が報告されました。当該機体の飛行時間は約1万時間であり、長期間の機体運用により微視的な構造部材の腐食、摩耗又は、防食塗膜の摩耗、劣化等が発生し、ボルトに弛みが発生したものと推定いたします。

本部位は、サービス・マニュアル上500時間毎に点検（脚取付部の点検）を要求しておりますが、今回、ボルトの弛み状況詳細を下図に紹介致しますので、当該ボルトの弛みに注意して点検を実施するようお勧めいたします。

尚、万が一弛みが発見されたならば、下記の処置を実施して下さい。



#### 1. 弛みに対する処置

- (1) ボルト孔寸度検査 (MAX 6.604 mm まで許容されます。)
- (2) ボルト孔周辺のダイチェック
- (3) ボルトの外観検査又は新品のボルトと交換  
P/N AN174-7A (上側), NAS1104-13 (下側)
- (4) ナットを新品と交換  
P/N NAS679A4W
- (5) 正規トルク締付け (50~70 in-lbs)

